

【電気事業】

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**
- 電力の安定供給
  - 地球環境への貢献
  - 適正な利益の確保
  - 地域社会への貢献
- 【行動計画】**
- ①水力発電所のリニューアル
  - ②施設の適切な維持管理
  - ③小水力発電所の新規開発検討
  - ④太陽光発電所の建設と保守管理体制の構築
  - ⑤小水力発電に係る技術支援
  - ⑥再生可能エネルギーの技術開発に向けた検討
  - ⑦電力システム改革の進捗に応じた対応
  - ⑧利益の活用検討

【成果指標】

指標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
<b>供給電力量</b>				
☆ 全発電計	毎年度 (目標値はR元年度)	83,797	39,416	MWh
(水力発電)		42,536	21,860	MWh
(風力発電) 下段は当初目標値		33,369 (34,298)	11,824	MWh
(太陽光発電)		7,892	5,732	MWh
<b>再生可能エネルギーを利用した発電によるCO2削減量</b>				
☆ 全発電計	毎年度 (目標値はR元年度)	59,100	27,829	トン
(水力発電)		30,000	15,434	トン
(風力発電) 下段は当初目標値		23,500 (24,200)	8,347	トン
(太陽光発電)		5,600	4,048	トン
<b>年間故障停止時間</b>				
☆ (水力発電)	毎年度 (目標値はR元年度)	180	0	時間
☆ (風力発電) 下段は当初目標値		7,900 (9,000)	1,887	時間
☆ (太陽光発電)		250	0	時間

※☆印は毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」:取組内容、「⇒」:結果、「・」:課題

- ①水力発電所のリニューアル**  
老朽化した水力発電所において、今後も安定した発電が可能となるよう順次再整備(リニューアル)  
○東西事務所と本局の連携を密にし、工事間の調整や工程・現場管理を実施  
(リニューアル調整会議:3ヶ月に1回、工事工程会議:毎月の開催、関係機関協議等)  
⇒三隅川発電所を除く各発電所の工事がスケジュール通り進捗  
・三隅川発電所ではスケジュールに遅れ(地盤が想定以上に強固で掘削作業難航)  
・土壌汚染対策法に基づく未届け事案が発生(7/12記者発表:三隅川)  
○飯梨川第三発電所リニューアル(発電設備更新)工事の積算、発注作業  
⇒発注公告(8/20)、開札(10/2)  
○受注業者の安全訓練状況を確認
- ②施設の適切な維持管理**  
故障停止時間を縮減に向けた取り組みの強化  
○電気事業法改正に伴い県で制定した風力発電定期事業者検査要領書に基づく適正な検査体制の構築と実行  
○隠岐大峯山、江津高野山風力発電所において強風時と発電時には運転を停止  
○隠岐大峯山風力発電所故障対応時に島内業者との連絡手段にスマートフォン(LINE)を活用し画像等共有することで迅速且つ的確な指示が可能となる  
○江津高野山風力発電所において海外製の交換部品で納期に期間を要するものは、予備品として事前に購入  
○修理、点検や部品の調達で、地元業者の更なる活用、範囲の拡大  
○風力発電において経年劣化で故障した場合、交換部品の使用時間を確認し故障時期予測に反映(高額部品のみ)  
⇒故障・被害の減少
- ③小水力発電所の新規開発検討**  
○新規開発地点(奥出雲町高尾堰堤)の検討(基本設計業務実施)  
⇒採算性を高めるため、発電出力や導水路ルートなど、工事内容を精査中  
・候補地点は少ない
- ④太陽光発電所の建設と保守管理体制の構築**  
○メンテナンス業者と連携し、定期巡視と故障発生時の早期復旧を実施  
⇒3発電所とも順調に稼働し、目標を達成(上期パネル破損4枚)
- ⑤小水力発電に係る技術支援**  
○これまで培った知識や経験を生かし、県内市町村等の小水力発電の新規開発、リニューアル及び維持管理手法について助言支援(平成28年度までに10件の支援を実施)  
⇒個人からの相談1件  
・技術支援要請の減少
- ⑥再生可能エネルギーの技術開発に向けた検討**  
○先駆的な実証実験事業等、技術開発に資する事業について情報収集と研究活動  
⇒国や他県の情報収集(水素エネルギー・バイオマスエネルギー)
- ⑦電力システム改革の進捗に応じた対応**  
○地域新電力への売電可能性調査  
⇒県内の新電力から現時点での受電意思がないことを確認
- ⑧利益の活用検討**  
水力発電所リニューアル完了後の固定価格買取制度(FIT)による利益の活用を検討  
○知事部局(地域振興部)の再生可能エネルギー利活用総合推進事業(太陽光発電等導入支援事業)として一般会計で支援を実施(15市町)

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

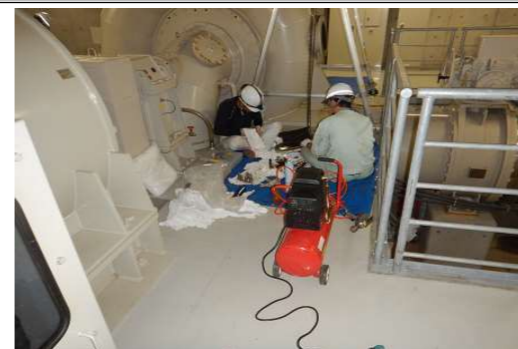
- ・土壌汚染対策法に基づく届出の要否について、審査体制を確立
- ・土壌汚染対策法に係る職員研修の実施(保安研修会)
- ・工事受注業者の安全確認を引き続き実施し、工事の安全管理をさらに徹底
- ・引き続き故障停止時間縮減対策を実施
- ・新規開発地点の調査・検討を継続
- ・確実な点検の継続
- ・広報・PRのあり方を再検討
- ・情報収集・研究活動を継続
- ・今後も情報収集活動を継続



三隅川発電所リニューアル工事



八戸川第一発電所リニューアル工事



飯梨川第二発電所停電作業



八戸川第二発電所停電作業

【工業用水道事業】

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**  
 1. 工業用水の安定供給  
 2. 経営の改善
- 【行動計画】**  
 ①施設の長寿命化に向けた基本計画の策定  
 ②施設の適切な維持管理  
 ③新規需要の開拓  
 ④経費の縮減

【成果指標】

指 標	目 標 と 実 績			
	達成年度	目標値	実績	単位
<b>給水制限日数</b>				
☆(飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆(江の川)		0	0	日
<b>売水率</b>				
(飯梨川)	R7	60	57.5	%
(江の川)		56	56.0	%
<b>売水先の数</b>				
(飯梨川)	R7	34	28	社
(江の川)		4	4	社
<b>一般管理費の縮減(H26年度決算比)</b>				
(飯梨川)	R7	△10	-	%
(江の川)		-	-	%

※☆印は毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

- ①施設の長寿命化に向けた基本計画の策定**  
 ○江の川工業用水道事業施設管理基本計画及び中期事業計画(案)の策定
- ②施設の適切な維持管理**  
 工業用水道施設・設備について、企業局電気工作物保安規程に基づき日常点検や定期点検を確実に実施  
 ○企業局電気工作物保安規程(電気事業法に基づき定める保安基準)で規定する巡視、点検、作業の遵守  
 ⇒事故、故障による給水制限はゼロ  
 [飯梨川]  
 ○飯梨川工業用水道連絡会議を開催(布部ダムにおける降水量、流入量の過去10年平均値、濁水調整、施設工事の状況、更新事業計画等)し、意見交換を実施  
 ⇒工水需要家28社中7社出席  
 ・欠席需要家との情報共有  
 ○原水濁度の上昇を防ぐために、気象、ダム放流等の情報収集と原水濁度の監視を強化し、流入弁を調整  
 ⇒濁度の流入を未然に抑制し、規程の水質(原水濁度30度以下、実績0.53度)を確保  
 ○H29年度末に策定した飯梨川工業用水道事業施設管理基本計画及び中期事業計画を基に、国のH30年度強靱化事業及びH31年度改築事業に採択、H31年度上期において対象事業の発注を実施  
 ・国の補助事業の先行きが不透明(補助事業の継続、採択基準及び予算額)  
 [江の川]  
 ○夏場における藻の活性によるpH上昇対策として、沈澱池の運用変更、水中ポンプの設置による曝気を実施  
 ⇒pH上昇を抑制  
 ○取水場への濁水到達時間を正確に把握  
 ⇒浜原ダム(広島県内)放流時の河川流量の増加傾向を通常時の予想到達時間に反映(江の川)
- ③新規需要の開拓**  
 [飯梨川]  
 ○工業用水に興味のあると思われる1事業所にその利用について意向を確認  
 ⇒大量に水を使う見込がないとの回答を得たため、断念  
 [江の川]  
 ○島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携し用水型企業の誘致活動を実施  
 ⇒新規進出企業(1企業)に工業用水の供給を開始した
- ④経費の縮減**

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・受水企業説明、合意を得て正式策定
- ・タイムライン(災害が発生した際に時間警戒に応じてどのような行動をとるべきかを事前に考えて決めておく、防災行動計画)策定や関係機関との連絡体制の強化(原子力災害)
- ・欠席需要家へは、資料を持参し個別に説明
- ・継続して実施  
 ・故障・事故対応記録の整備を継続(電子ファイル化)、検索システムを使用した故障対応時間の軽減  
 現場点検、作業を通じた技術力の維持向上  
 ・中期事業計画期間中(20年間)は、毎年度継続して補助事業申請を実施  
 ・補助制度について、予算枠の拡充や内容の見直し等を国に要望  
 ・状況に応じて継続実施し、他の方法も模索  
 ・継続して実施
- [飯梨川]  
 ・新規売水先の開拓や既契約企業の使用水量増を依頼  
 [江の川]  
 ・島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携し用水型企業の誘致活動を継続



送水管芯出し作業(埋設送水管の中心を特定)



東部事務所運転監視制御卓



送水管路布設替工事



西部事務所(江津浄水場)取水ポンプ

【水道事業】

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**  
 1. 水道用水の安定供給  
 2. 安全で良質な水質の維持  
 3. 健全経営の確保  
 4. 給水量減少への対応
- 【行動計画】**  
 ①施設の長寿命化に向けた基本計画の策定  
 ②施設の適切な維持管理  
 ③適切な水質検査・監視と維持管理  
 ④水安全計画の策定と実践  
 ⑤経費の縮減

【成果指標】

指標	目標と実績			
	達成年度	目標値	実績	単位
<b>給水制限日数</b>				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	0	日
☆ (江の川)		0	0	日
<b>水質目標値を達成しなかった日数</b>				
浄水池濁度 (0.1度以下)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	0	日
☆ (江の川)		0	0	日
浄水池色度 (2度以下)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	0	日
☆ (江の川)		0	0	日
末端残留塩素濃度 (0.1~0.5mg/L)				
☆ (飯梨川)	毎年度	0	0	日
☆ (斐伊川)		0	0	日
☆ (江の川)		0	0	日
<b>一般管理費の縮減 (H26決算比)</b>				
(飯梨川)	R7		-	%
(斐伊川)		△10	-	
(江の川)			-	

※1. ☆印は毎年度目標値  
 ※2. 水質目標値は内部管理目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

- ①施設の長寿命化に向けた基本計画の策定**  
 ○江の川水道用水供給事業について、施設管理基本計画(案)、中期事業計画(案)を策定中  
 ・更新事業費や水道料金を踏まえた中期事業計画(案)の策定
- ②施設の適切な維持管理**  
 水道施設・設備について、企業局電気工作物保安規程に基づき日常点検や定期点検を確実に実施  
**○企業局電気工作物保安規程(電気事業法に基づき定める保安基準)で規定する巡視、点検、作業の遵守**  
 ⇒事故、故障による給水制限はゼロ
- [飯梨川]  
 ○島根県水道用水供給事業(飯梨川水道)について、施設管理基本計画を策定  
 ○飯梨川第一発電所リニューアル中の水運用安定化のため、ダム管理者との調整実施  
 ○農水利水者との取水運用の調整及び、管理者(市)との調整実施  
 ⇒安定した取水を実現
- [斐伊川]  
**○寒波などの緊急時に許可取水量が変更できるよう国土交通省へ水利権変更申請書、説明資料を提出**  
 ⇒国土交通省(本省)にて審査中  
**○尾原ダム事前放流に対する国土交通省との調整**  
 ⇒濁水リスクの最小化を前提に事前放流に同意(別紙参照)  
 ・今後、土木部管理ダムでも事前放流を検討
- ③適切な水質検査・監視と運転管理**  
 [共通]  
 ○送水末端の水質(残留塩素、濁度、色度)を監視し今後の水質の変動を予想  
 ○必要に応じて次亜塩素酸ナトリウムの注入量を適時調整  
 ⇒目標残塩濃度(0.1~0.5mg/L)の確保  
 ○生物監視装置を使用した上水水質監視
- [斐伊川]  
 ○ろ過池での藻類異常繁殖抑制に効果のあった遮光シートをろ過池全面に設置し、水質検査項目も追加して、試験を継続実施  
 ⇒ろ過水水質に問題なし、ろ過池の目詰まりも抑制  
 ・広範囲に設置する場合の労力及び費用
- [江の川]  
 ○原水濁度上昇時に適切な凝集剤を注入  
 ⇒色度・濁度を下げ、基準内を確保
- ④水安全計画の策定と実践**  
 水安全計画: 水源から管路の末端までの水質における問題要因把握と適切な対策の準備のマニュアル(厚労省が策定を推奨)※H29策定済  
 ○水安全計画に基づく水質検査を実施  
 ○健康福祉部は市町村へも計画策定を依頼
- ⑤経費の縮減**

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・将来に渡り安定した用水供給に支障が無いよう、水道料金について受水団体の理解を得ながら、中期事業計画を策定
- ・**タイムライン(災害が発生した際に時間警戒に応じてどのような行動をとるべきかを事前に考えて決めておく、防災行動計画)策定や関係機関との連絡体制の強化(原子力災害、斐伊川濁水)**  
 ・故障・事故対応記録の整備を継続(電子ファイル化)、検索システムを使用した故障対応時間の軽減、現場点検、作業を通じた技術力の維持向上
- ・令和2年度(リニューアル最終年)も継続  
 ・継続して実施
- ・**緊急時の具体的手続きの確認**
- ・**河川管理者との協議により濁水リスクの最小化に協力**
- ・継続して実施
- ・他のろ過池へも水平展開  
 ・遮光シート敷設撤去の省力化検討
- ・継続して実施
- ・計画の実践と訓練による検証  
 ・市町村からの要請に基づき水安全計画を説明



送水管路漏水状況確認作業



電気設備停電作業



着水井清掃



緩速ろ過池補砂工事

【宅地造成事業】

目標・行動計画・成果指標 (P)

【目標】

1. 工業団地の分譲促進

【行動計画】

- ① 工業団地の分譲
- ② 江津地域拠点工業団地の造成検討
- ③ 進出企業との情報交換

【成果指標】

指標	目標と実績			単位
	達成年度	目標値	実績	
分譲率				
(江島)	R7	100	100.0	%
(江津地域拠点)		95	84.3	

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「○」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

① 工業団地の分譲

- 〔江島〕
- 江島工業団地(H30完売)について、地元市への緑地等移管の実施
- 〔江津地域拠点〕
- 島根県商工労働部、江津市商工観光課等と連携した分譲促進
- 第二期造成後の分譲単価を検討
- 8/1に(株)シティプラスチックと工場増設に係る覚書調印(商工労働部)

② 江津地域拠点工業団地の造成検討

- 企業進出のタイミングを逸することなく、迅速な分譲に備えるため、B区画残地(約2.3ha)及びF区画(約4.5ha)など第二期造成事業の着実な実施
- G区画(約3.8ha)はF区画造成により発生する残土を利用し、盛土工まで完了

③ 進出企業との情報交換

- 年2回開催される団地連絡協議会(事務局:江津市)の第1回目において、情報交換を実施(内容:団地内のゴミ拾い、除草等の美化活動他)

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・ 第二期造成工事の着実な実施
  - ・ B区画残地(約2.3ha)はR2年6月末完了予定
  - ・ F区画一部(約1.5ha)はR2年3月末、残り(約3ha)はR3年2月末完了予定
  - ・ G区画盛土工はR3年7月末完了予定
- ・ 団地連絡協議会を通じて、今後一層の情報交換を実施



江島工業団地



江津地域拠点工業団地

【個別的取り組み】

目標・行動計画・成果指標 (P)

- 【目標】**  
 1. 危機管理体制の強化  
 2. 技術力の継承と人材の育成  
 3. 県民理解の促進  
 4. 地域社会への貢献
- 【行動計画】**  
 ①危機管理体制の強化  
 ②技術力の継承  
 ③人材育成の取組  
 ④わかりやすい情報発信  
 ⑤施設見学・出前講座の充実  
 ⑥施設周辺地域への対応  
 ⑦森づくり事業の実施  
 ⑧地域活動への参加

【成果指標】

指標	目標と実績			単位
	達成年度	目標値	実績	
危機管理訓練の回数				
☆	毎年度	8	3	回
業務に関する技術資格の取得数				
	R7	累計80	累計65(R1:15)	件
ホームページアクセス数				
☆	毎年度	15,000	8,254	件
施設見学・出前講座の参加者数				
☆	毎年度	1,600	1,337	人
森づくり事業(植栽)箇所数				
☆	毎年度	5	1	箇所
地域活動への参加件数				
☆	毎年度	18	12	件

※☆印は毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「O」: 取組内容、「⇒」: 結果、「・」: 課題

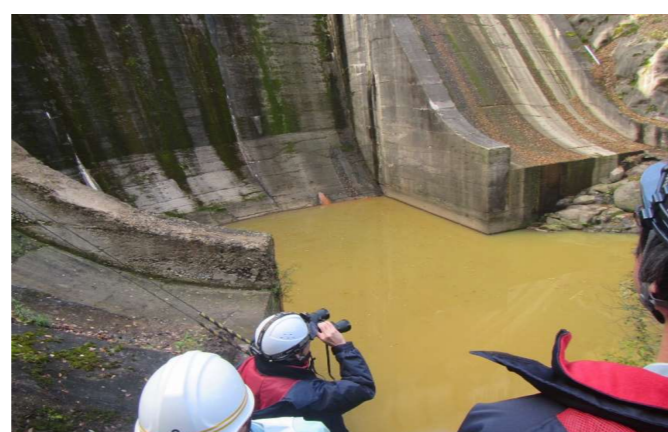
- ①危機管理体制の強化**  
 ○島根県企業局危機管理計画について、島根県地域防災計画や業務継続計画との関係を整理するなど内容の見直し  
 ⇒6月に改定を実施  
 ・原子力災害への対応や地区災害対策本部との関係について整理が必要  
**○危機管理訓練の目標値である8回のうち企業局全体で3回実施**  
 ⇒4/24ダム管理演習(東部・西部)、6/5合同訓練(東部工水:送水管漏水事故、西部工水:送水ポンプ故障)、6/25西部(水道第1回:高濁度対応)
- ②技術力の継承**  
**○水力発電所リニューアル工事を活用した技術職員研修会を開催(八戸4/18,大長見6/25)**  
 ○リニューアル工事記録映像の作成  
 ⇒昨年度作成した台本に基づき、工事記録映像を撮影中  
**○技術継承について計画を立案し、実施**  
 ⇒取水場オイルフェンス設置訓練、作業に伴う現場教育訓練をOJT実施、その他業務に関わる技術資料(雑誌記事等)を入手して供覧し情報共有
- ③人材育成の取組**  
 ○業務に関する技術資格の取得  
 ⇒特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者講習受講(1名)、有機溶剤作業主任者講習(1名)、特別管理産業廃棄物責任者講習(1名)、フルハーネス型安全帯使用作業特別教育講習(1名)、第3級陸上特殊無線技士(2名)、第1種ダム水路主任技術者(1名)、玉掛け技能講習(3名)、小型2級船舶操縦士講習(2名)、酸欠技能(1人)、第2種電気工事士(1人)計14件  
 ・特にダム水路主任技術者と電気主任技術者が不足  
 ○資格取得の促進として、年度始めに所内研修計画を作成し、交替勤務者が参加しやすいよう日勤者も当直勤務を習熟  
 ○企業局の人材育成に向けた取組方針の策定(5/10)  
 ⇒新任者研修(4/16)、公営企業会計システム研修(6/27、8/28)、新任者企業会計研修(7/17,18)、NOMA地方公営企業会計研修(8/29,30)、若手職員研修(8/29,30)、先輩職員研修(7/2、9/17)
- ④わかりやすい情報発信**  
 ○TSK県政広報番組「なるほど!吉田くんのしまねゼミ」を通じて企業局が行っている事業を県民に広くPR  
 ○再生可能エネルギーツアー参加者の拡大を図るため、HPのパナー公告、県内の小学校を対象にしたチラシの配付  
**○5月に企業局通信第1号発刊(企業局の概要)**  
 ○やすぎ環境フェアにおいて、「利き水大会」を実施し今津浄水場の水道水のおいしさをPR、来場者には今津水道水のペットボトル、蛍光ペン等のグッズとPR広報紙「企業局通信」を配布  
 ⇒244人参加(うち今津111票)  
 ○江津市報「かわらばん」、山陰中央新報島根県広報「島根県からのお知らせ」に掲載  
 ○再エネツアーのチラシを地元(江津市)各地域コミュニティーセンターに配布  
 ○各県民センター及びその事務所(7か所)、県内の市役所(8市)へ配布  
 また、広島事務所を通じて在広島県人会に配布

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

- ・関係機関との協議を行いながら、課題について継続的に取り組みを実施(原子力災害タイムライン)
  - ・事故対応訓練に加え、危機管理セミナー及び他団体が主催する危機管理訓練の見学等への参加
  - ・職員にとって効果のある内容を計画・実施
- 
- ・継続して実施
  - ・継続して実施
  - ・継続して実施
- 
- ・ダム水路主任技術者と電気主任技術者の取得を促進
  - ・継続して実施
- 
- ・継続して実施
  - ・企業局HPに再エネツアーのパナーを継続掲載
  - ・11月に企業局ロゴマーク発表、企業局通信第2号発刊、下期中にオリジナルHP作成
  - ・継続して実施



水道・工業用水道施設危機管理訓練



三成ダム危機管理訓練



三成発電所停電作業(技術力継承)



矢原川発電所水路点検(ダム水路主任技術者)

【個別的取り組み】

目標・行動計画・成果指標 (P)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| <b>【目標】</b>     | <b>【行動計画】</b> |
| 1. 危機管理体制の強化    | ①危機管理体制の強化    |
| 2. 技術力の継承と人材の育成 | ②技術力の継承       |
| 3. 県民理解の促進      | ③人材育成の取組      |
| 4. 地域社会への貢献     | ④わかりやすい情報発信   |
|                 | ⑤施設見学・出前講座の充実 |
|                 | ⑥施設周辺地域への対応   |
|                 | ⑦森づくり事業の実施    |
|                 | ⑧地域活動への参加     |

【成果指標】

指標	目標と実績		
	達成年度	目標値	実績
危機管理訓練の回数			
☆	毎年度	8	3
業務に関する技術資格の取得数	R7	累計80	累計65(R1:15)
ホームページアクセス数			
☆	毎年度	15,000	8,254
施設見学・出前講座の参加者数			
☆	毎年度	1,600	1,337
森づくり事業(植栽)箇所数			
☆	毎年度	5	1
地域活動への参加件数			
☆	毎年度	18	12

※☆印は毎年度目標値

取組内容 (D) / 取組の結果・課題 (C) 「O」:取組内容、「⇒」:結果、「・」課題

**⑤施設見学・出前講座の充実**  
**O再エネツアー(夏休み編)について、教育委員会の協力を得て県内小学校へのチラシ配布に。この内19校については、直接持参し参加を呼びかけ**  
 ⇒昨年度23名→今年度44名に増加  
 O施設見学や職場体験学習で、おいしい水道水を住民に提供していることを説明  
 ⇒見学後の先生へのアンケートでは児童目線のわかりやすい説明であったと好評  
 O民間が主催するダム巡りツアー参加者に三成ダムの提体を案内  
 ⇒主催者、参加者ともに好評  
 O給水区域等の小・中・高校・特別支援学校(89校)へ再エネツアーと施設見学の案内を送付  
 ⇒施設見学を希望する学校の拡大  
 O出前講座について市の広報で案内  
 ⇒出前講座で興味を持たれ、再エネツアーの参加へ繋がる

令和元年度上期施設見学等実績

(単位:人)

	大人	子供	計
施設見学	348	521	869
出前講座	41	84	125
再エネツアー(定期)	7	0	7
再エネツアー(随時)	156	180	336
合計	552	785	1,337

**⑥施設周辺地域への対応**

大規模な工事を行う際、地元関係者への理解と協力を得る  
 O水力発電等リニューアル工事・小水力発電所建設工事において、地元関係者へ工事内容の説明を実施(三隅川発電所借地箇所地権者、山佐発電所周辺自治会)計2件  
 ⇒工事内容等について、理解を得た  
 O工事施工業者による地域住民とのコミュニケーション(工事ニュースの配布、地域行事への参加等)(工事ニュースの配布3件、地域行事への参加2件、小学校で出前講座開催1件、ホームページ掲載1件見学会の開催1件)

**⑦森づくり事業の実施**

O1件の事業を実施  
 ⇒4/26広瀬町西比田(74名参加、クヌギ250本植樹)

**⑧地域活動への参加**

[本局]  
 O6/1水源クリーン作戦(忌部浄水場)、9/8尾原ダム周辺ボランティア美化活動  
 [東部]  
 O5/13春の交通安全運動街頭活動、6/12飯梨川(第1回)河川清掃、8/7尾原ダム保全活動、9/8やすぎ環境フェア、9/24秋の交通安全運動街頭活動、9/25飯梨川(第2回)河川清掃、9/26三代浄水場周辺清掃  
 [西部]  
 O7/17江津工業団地クリーン作戦(夏)、5/13,9/24交通安全街頭活動(春・秋) 計12件

結果・課題に対する今後の対応等 (A)

・継続して実施

・送水区域内の小学校と教育委員会に案内文書を前年度の年内までに発送

・出前講座は、見学者(主に学校関係者)へのチラシ配布、PRを徹底

・継続して実施

・現在4件の審査完了→実施

・11月から宍道湖周辺清掃開始  
 ・継続して実施



三代浄水場施設見学



再生可能エネルギーツアー(夏休み編)



森づくり事業(安来市広瀬町)



秋の交通安全運動